

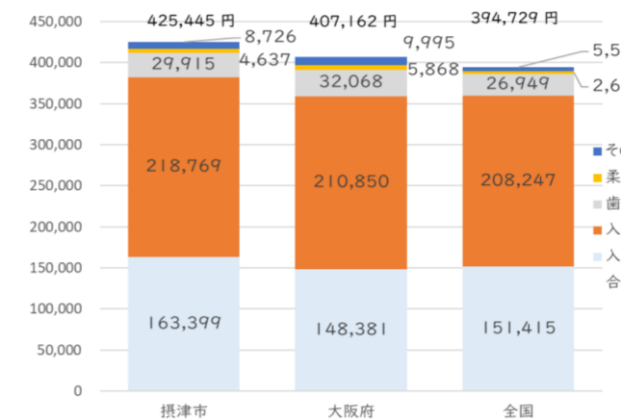
摂津市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）（案）の概要

(1) 計画の概要

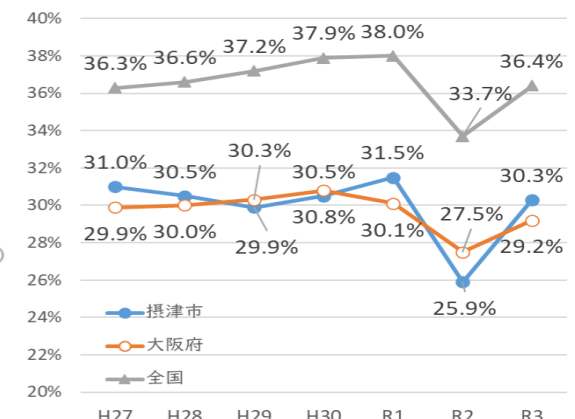
- ◆ 計画の位置づけ
データヘルス計画は、健診・レセプトデータの分析に基づいて保健事業をPDCAサイクルで効果的・効率的に実施し、被保険者の健康の保持増進・医療費の適正化を図るものです。
- ◆ 計画期間
令和6年度～令和11年度
- ◆ 摂津市の概況
本市の人口は令和4年度末(令和5年3月末)時点で86,494人です。高齢化率は25.71%となっており、全国的な傾向と同様に、本市においても少子高齢化が進行しています。国民健康保険被保険者数は15,906人、加入率は18.4%となっていますが、被保険者の高齢者割合は40.7%と依然として高い状況が続いています。
令和3年度の平均寿命は、男性82.1歳、女性87.5歳、健康寿命が男性80.3歳、女性83.9歳となっており、平均寿命、健康寿命ともに男女で大阪府平均を上回っていますが、女性については全国平均を下回っている状況です。

(2) 医療・健診データ

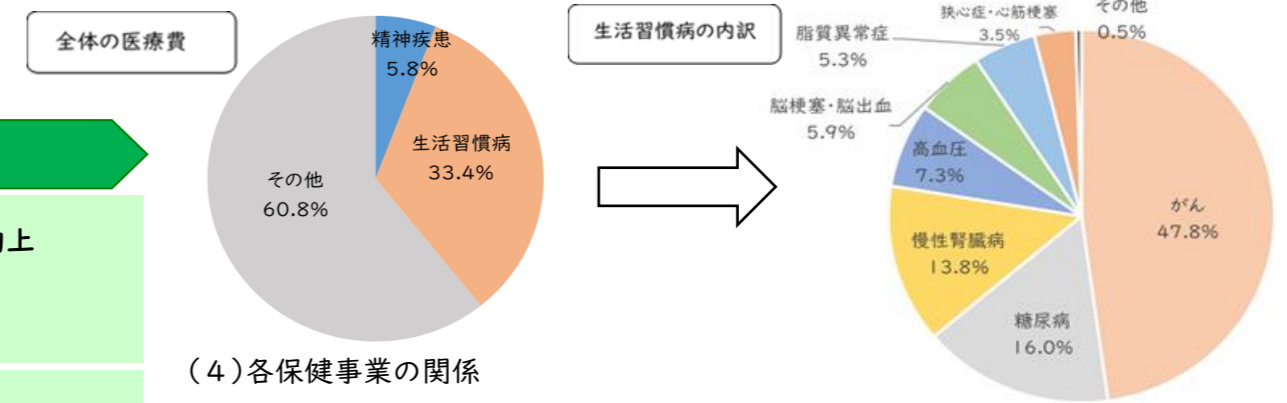
一人当たり年間医療費の比較(令和4年度)



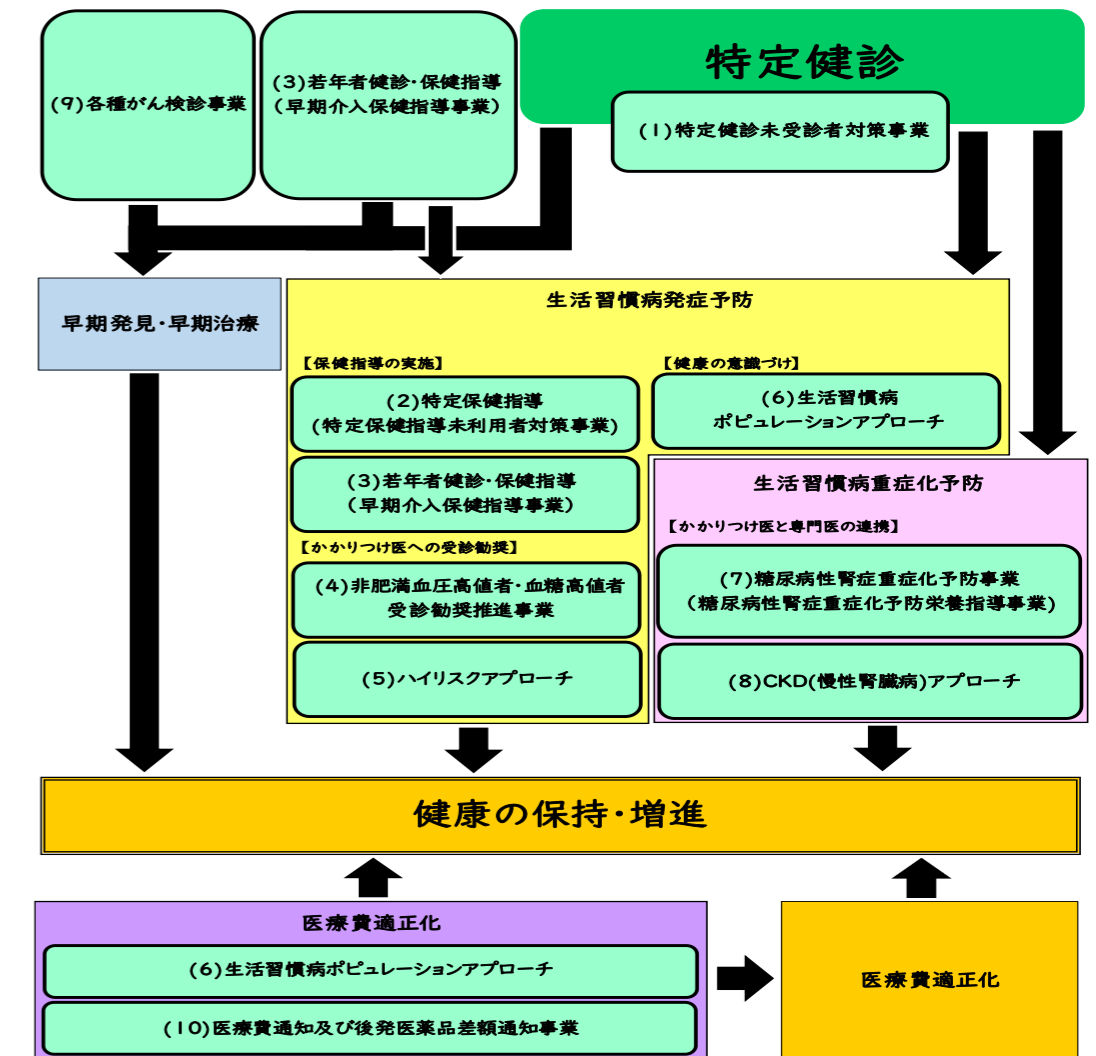
特定健診受診率の推移



全医療費に占める生活習慣病の割合(令和4年度)



(4) 各保健事業の関係



(3) 摂津市の健康課題と対策

分析結果からみえる本市の課題	課題への対策	対応する事業
【健康状態の把握】の段階 <ul style="list-style-type: none"> 特定健診の受診率は近年増加傾向にありますが、全国と比較して低いです 特定健診も医療も利用せず、自らの健康状態を知らない被保険者の割合が14.8%もいます 男女別の死因割合は、いずれもがんによる死亡が一番高いです 各種がん検診は検診受診率、精密検査受診率ともに目標未到達です 	◇ 早期発見・早期治療 <ul style="list-style-type: none"> 病気の早期発見・治療につなげるためには特定健診受診率向上が必要です がんの早期発見・治療につなげるためにはがん検診受診率向上が必要です 	早期発見・早期治療 <ul style="list-style-type: none"> 特定健診・若年者健診の実施および受診率の向上 <ul style="list-style-type: none"> (1) 特定健診未受診者対策事業 (3) 若年者健診・保健指導 (早期介入保健指導事業) がん検診の実施および受診率の向上 <ul style="list-style-type: none"> (9) 各種がん検診事業
【生活習慣病予備軍】の段階 <ul style="list-style-type: none"> 血圧コントロール不良者が少なくないです LDLコレステロール160mg/dl以上の未治療者が少なくないです メタボリックシンドローム予備軍の割合が微増となっています 	◇ 生活習慣病発症予防 <ul style="list-style-type: none"> 対象者の状況に応じた適切な保健指導を行うとともに、医療機関への受診勧奨による早期の治療を促すことが必要です 	生活習慣病発症予防 <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導・若年者保健指導の実施 <ul style="list-style-type: none"> (2) 特定保健指導 (特定保健指導未利用者対策事業) (3) 若年者健診・保健指導 (早期介入保健指導事業) 高リスク者への生活習慣病予防の実施 <ul style="list-style-type: none"> (4) 非肥満高血圧高値者・血糖高値者受診勧奨推進事業 (5) ハイリスクアプローチ 生活習慣病予防にかかる啓発の実施 <ul style="list-style-type: none"> (6) 生活習慣病ポピュレーションアプローチ
【生活習慣病発症】の段階 <ul style="list-style-type: none"> 全医療費のうち生活習慣病の割合が、33.4%と3分の1以上を占めています 糖尿病患者の割合が大阪府及び全国と比較して高いです 人工透析の被保険者千人当たりレセプト件数が50歳代と65歳～69歳で府及び全国と比較して多くなっています 全医療費のうち腎不全が占める割合が7.1%と最も多くなっています 	◇ 生活習慣病重症化予防 <ul style="list-style-type: none"> 腎症重症化予防が必要になります 医療機関への受診勧奨や専門医への連携により、生活習慣病が重症化する前に健診受診から医療へつなげる必要があります 	生活習慣病重症化予防 <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病性腎症重症化予防の実施 <ul style="list-style-type: none"> (7) 糖尿病性腎症重症化予防事業 (糖尿病性腎症重症化予防栄養指導事業) 慢性腎臓病重症化予防の実施 <ul style="list-style-type: none"> (8) CKD(慢性腎臓病)アプローチ
医療費・健康意識 <ul style="list-style-type: none"> 年齢階級別の一人当たり総医療費は特に50歳～70歳代で府および全国と比較して高くなっています 後発医薬品の使用割合は8割を超えていますが全国と比較して低いです 	◇ 医療費適正化 <ul style="list-style-type: none"> 健康意識の向上のため健康づくりを推進することが必要となります 医療費の抑制のために医療の適正利用を推進する必要があります 	医療費適正化 <ul style="list-style-type: none"> 健康の意識づくり及び情報の周知 <ul style="list-style-type: none"> (6) 生活習慣病ポピュレーションアプローチ (10) 医療費通知および後発医薬品差額通知事業